

再エネ設備情報及び省エネルギー対策の取組内容の公表資料

■導入した設備の概要

設備	メーカー	型式	1台の能力	数量	総出力
太陽電池モジュール	パナソニック（株）	VBHN243SJ56	243w	38枚	9.23kW
パワコン	パナソニック（株）	LJPDR1	5.5kW	2台	11.00kW
蓄電池	パナソニック（株）	LJ-SBK02	5.6kWh	3台	16.80kWh

■導入場所

本社：東京都世田谷区玉川2-16-6 睦ビル二子玉川

■導入目的

- ・屋上に太陽光発電パネル・蓄電池・ハイブリッドパワコンを設置し、日没後でも電力供給が可能となり、災害時利用ができるよう検討致しました。

■他の事業者に向けた再エネ設備導入の参考となる情報

- ・太陽光発電設備を設置したことによるメリットとしては電気料金の削減、災害時の蓄電池利用、環境への取組は、世の中から求められている脱炭素社会の実現に少しでも貢献出来ると共に、顧客要求に対してもアピールポイントとなりました。また来社されたお客様にはたいへん興味を持っていただく設備となっています。デメリットはあまり感じませんが、設備費用が高額なこと、実際の効果を感じるまでに時間がかかること、心配事としてはメンテナンス費用です。災害時にも利用できることは設備投資する大きな理由となりました。

■省エネルギー対策の取組内容

- ・屋上に太陽光発電パネル・蓄電池の設置によりビル共用部分へ再生電力の使用
- ・高効率空調設備および熱負荷低減送風設備
- ・太陽光による窓からの熱負荷低減のためのLow-eペアガラスの全館設置
- ・LED照明、昼光利用制御センサー、人感センサーで可能な限りの省エネ照明仕様
- ・地中熱利用による空調負荷低減
- ・世田谷区「みどりの条例緑化基準」以上の緑地化、4階テラスに壁面緑化設置
- ・電気自動車用充電スタンドの採用により社用車（EV・PHV）から停電災害時には建物へ電源供給を行う